SANEI

T-K4795V-13-A4 AHK

保証書付

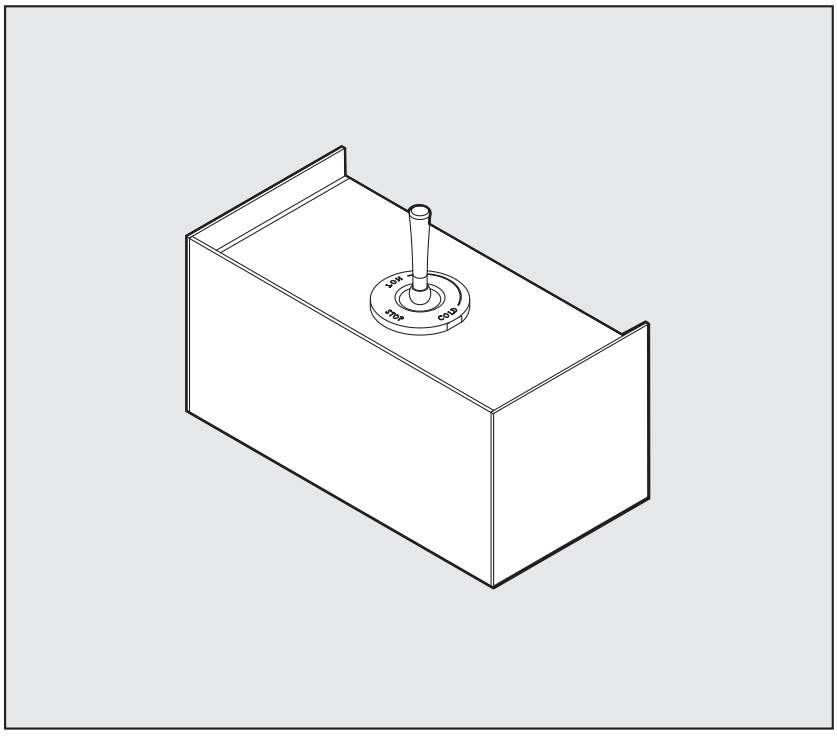
morfa

シングル洗面混合栓

K4795V-13

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
なお、保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称 …… 1

施工について

施工に関する安全上のご注意 …… 2
適切な使用条件 …… 3
施工前のご注意 …… 3
梱包明細 …… 4
施工手順 …… 5～17

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意 …… 18～21
吐水・止水・温度調節 …… 22
凍結予防 …… 23

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り …… 23
吐水口の掃除 …… 24

定期的な点検

可動部分の点検 …… 25
配管周りの水漏れ・器具のガタツキ …… 25
レバーのガタツキ …… 25

定期的な部品交換

逆止弁の交換時期 …… 25

こんなときは

故障？　その前に …… 26
本製品の構造 …… 27
オプション品について …… 28～29

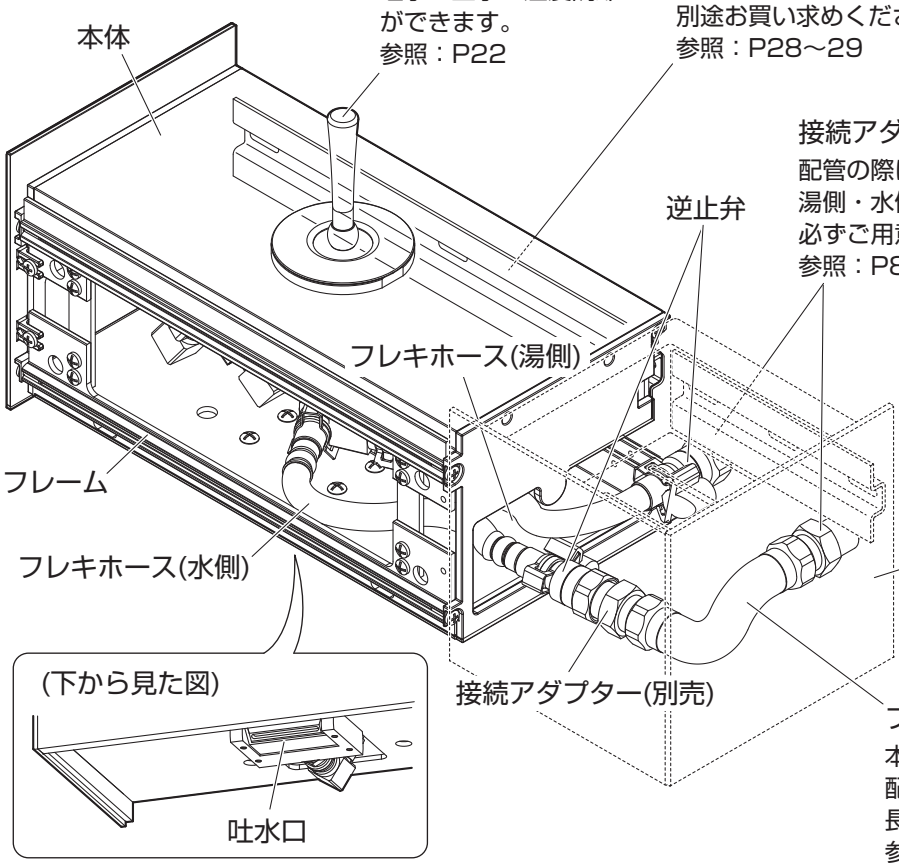
保証とアフターサービス

保証とアフターサービス …… 30
保証書 …… 裏紙

本製品について　各部の名称

●本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
●吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。
●別売の固定プレートと棚を組み合わせることで、様々な配管位置・用途に対応できます。

イラストは、
「右側配管」かつ「棚(150mm)設置」
の場合です。



レバー：
吐水・止水・温度調節ができます。
参照：P22

固定プレート：
本体や棚(別売)を壁に固定するための金具です。
●本体のみ取付ける場合 …
同梱品(300mmタイプ)をご使用ください。
●棚(別売)も併せて取付ける場合 …
棚幅や棚の数・取付位置に合った固定プレートを別途お買い求めください。
参照：P28～29

逆止弁

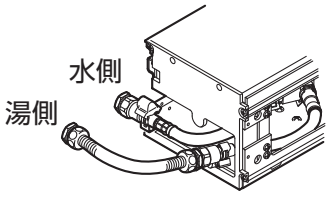
接続アダプター(別売)：
配管の際に必ず必要です。
湯側・水側の配管穴径に合ったものを、必ずご用意ください。
参照：P8

棚(別売)：
別売の固定プレートを使用することで、好きな位置に取付けできます。
配管位置が本体横にある場合は、配管の上に取付けることで配管を隠すことができます。
配管位置・用途に合った棚を別途お買い求めください。
参照：P28～29

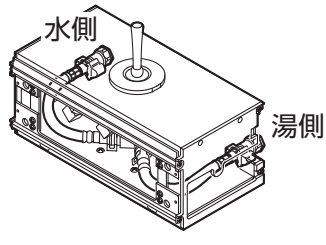
フレキチューブ(別売)：
本体横に配管がある場合は必要です。
配管穴までの距離に応じて、適切な長さのものをご用意ください。
参照：P8

本体内部のフレキホースを動かすことで、様々な配管位置に対応できます。

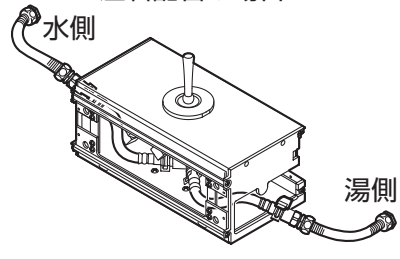
左側配管の場合



背面配管の場合

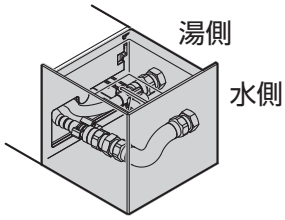


左右配管の場合

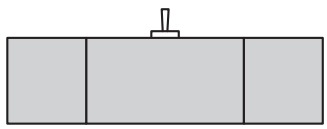


配管位置や用途に応じ、様々な棚の取付け方があります。

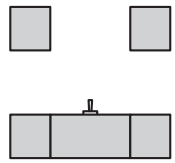
配管を隠したい



複数の棚をつなげたい



上部に棚を設置したい



施工について　施工に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

注意 ・・・・・・・・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠ ・・・・・・・・・・・・「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

「分解してはいけません！」

「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注意

修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。

湯水を逆に配管しないでください。
正常に作動しないため、やけどをする事があります。

給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。
85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

凍結が予想される地域には、取付けないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

強度のある壁・建築構造体に取付け、下地の厚みや補強が十分にある事を確認してください。
石膏ボード壁などの強度のない壁に取付けると、取付部がはずれ、落下・けが・水漏れの原因になります。

取付完了後、製品にガタツキがない事を確認してください。
製品にガタツキがあると、落下・けが・破損の原因になります。

水に濡れるおそれがある箇所に施工する場合は、防水加工を行ってください。
水に濡れると、取付部がはずれ、落下・けが・破損の原因になります。
また、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について　適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧（流動時）	最高使用水圧（静止時）
	0.1MPa	0.75MPa

●給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.4MPa程度に減圧してください。
●給水圧力は必ず給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
●給湯圧力は必ず0.1MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下

●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
●誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
●給湯に蒸気を使用しないでください。
●本製品は、給湯が止まった状態でレバーを湯側でたおしていると少量の水が出ますが、これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

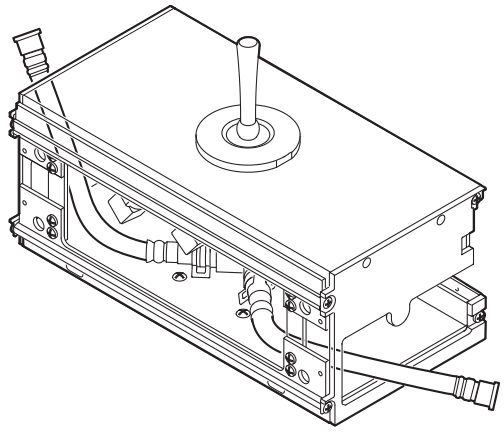
施工について　施工前のご注意

●給水は、上水道に接続してください。
●開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
●シングル洗面混合栓の製品下から洗面ボウルがはみ出さないようにして下さい。
● 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、**必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。**

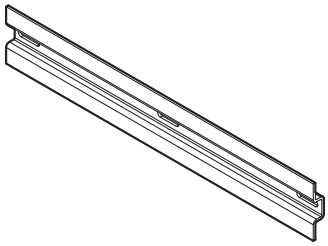
施工について　梱包明細

●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

本体 ×1

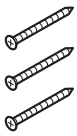


固定プレート(300mm) ×1



タッピンねじ 3本入(緑袋) ×1

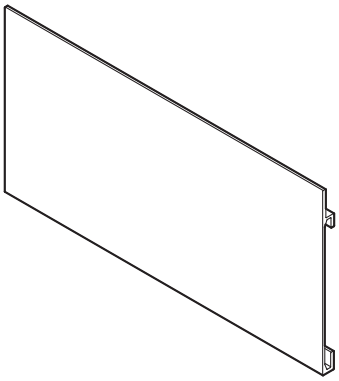
固定プレートを壁に取付けるためのねじです。



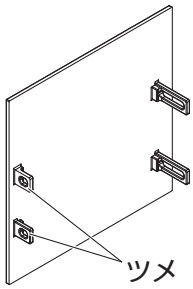
タッピンねじ2本入(青袋) ×1

本体を壁に固定するためのねじです。

前面パネル ×1

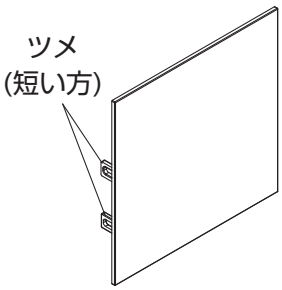


側面パネル(左) ×1



※ツメの短い方が前です。
※本体左側に棚を設置する場合は使用しません。

側面パネル(右) ×1



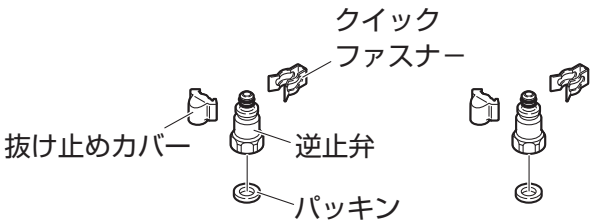
※ツメの短い方が前です。
※本体右側に棚を設置する場合は使用しません。

止めねじ 2本入(透明袋)×5

パネルを本体に取付けるためのねじです。

※本体横に棚を設置する場合、全てのねじを使用しません。

逆止弁 ×2

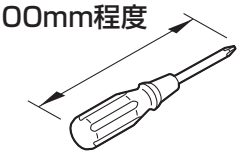


●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

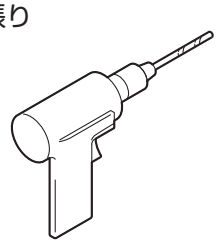
主な工具類

■ プラスドライバー(長)：
固定プレートや本体の固定、側面パネルの取付けの際に必要です。
また、本体の傾きを調節する際にも必要です。

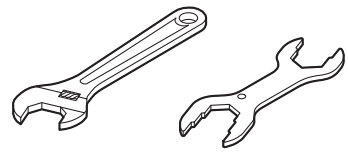
■ プラスドライバー(短)：
前面パネルの取付けの際に必要です。



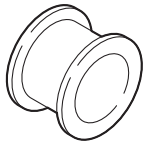
■ 電動ドリル：
壁がコンクリートやタイル張りの場合に必要です。



■ スパナ・モンキーレンチなど：
逆止弁、フレキチューブ、接続アダプターのナットが回せる工具。

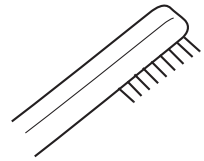


■ シールテープ：
接続アダプターを壁に取付ける際に必要です。



SANEI品番：PP75-1S
(シールテープ)

■ 使い古しのハブラシなど：
配管掃除ができるもの。



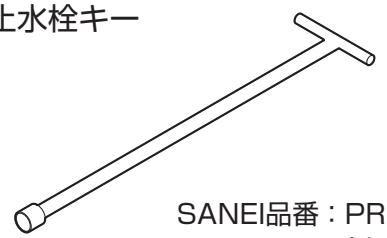
■ ぞうきんなど：
配管中の残り水を拭くのに使用します。

■ タオルなど：
ケガ防止や水栓保護のために使用します。

■ 手袋：
ケガ防止のために着用してください。

元栓がキー式の場合に必要な工具(参照：P10)

■ 止水栓キー

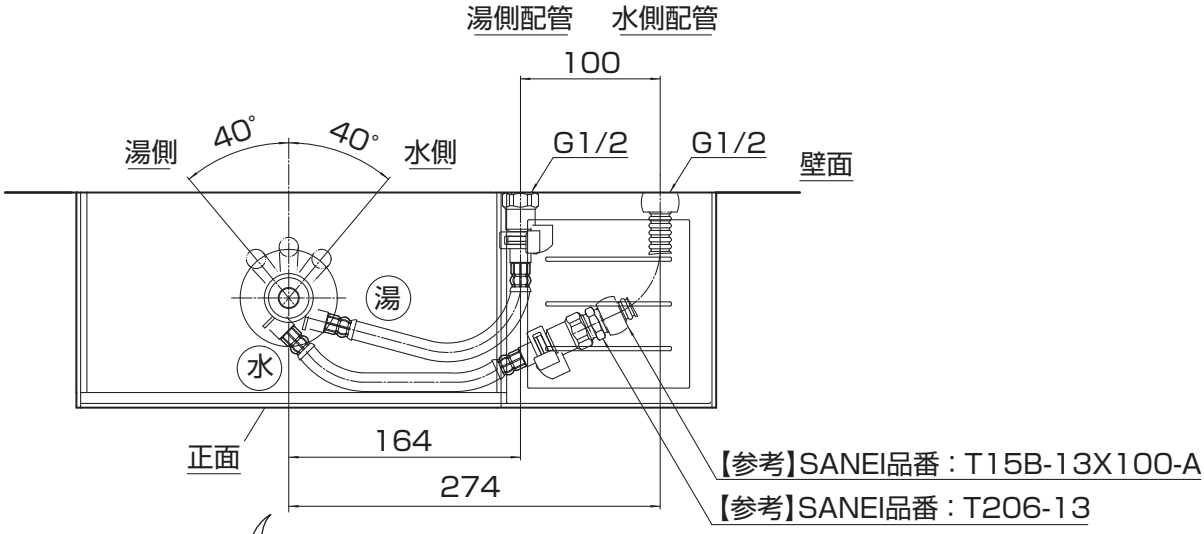


SANEI品番：PR30A
(止水栓キー)

1 寸法図の確認・配管位置の決定

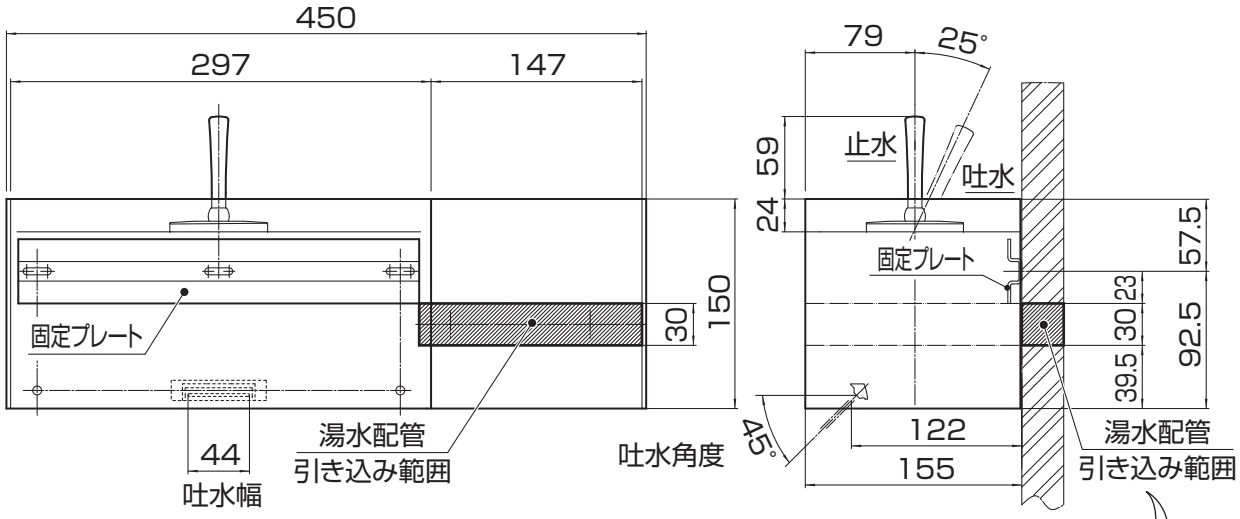
施工の前に、下記注意事項を必ずご確認頂き、適切な配管位置を決定してください。

イラストは、
「右側配管」かつ「棚(150mm)設置」
の場合です。



※ 本体正面から見て、右側のフレキホースが湯側、左側のフレキホースが水側です。
湯水を逆に配管すると、正常に作動せず、やけどをするおそれがありますので、配管の際は十分ご注意ください。

※ フレキホースの曲げRはR50以上です。
R50以上で曲がっていたり、無理な負荷が掛かっていると、ホースの折れ・破損の原因になります。

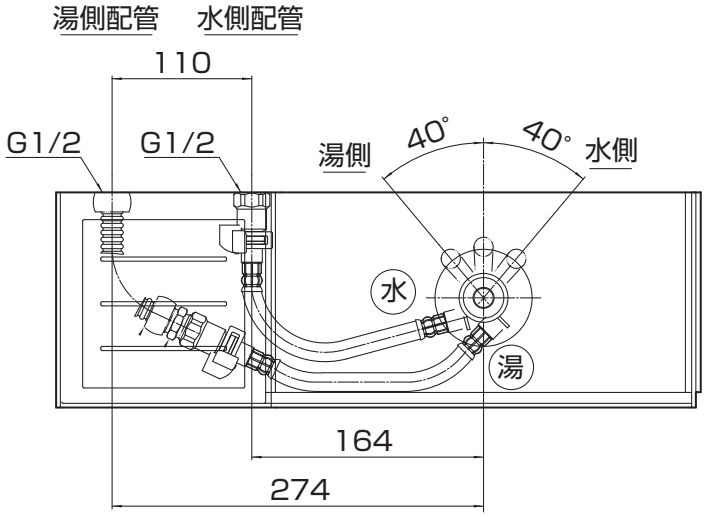


※ 湯水配管は、必ずこの上下位置の範囲内になるようにしてください。
上下位置の範囲がずれると、施工不良の原因になります。

❶ 寸法図の確認・配管位置の決定

施工の前に、下記注意事項を必ずご確認頂き、適切な配管位置を決定してください。

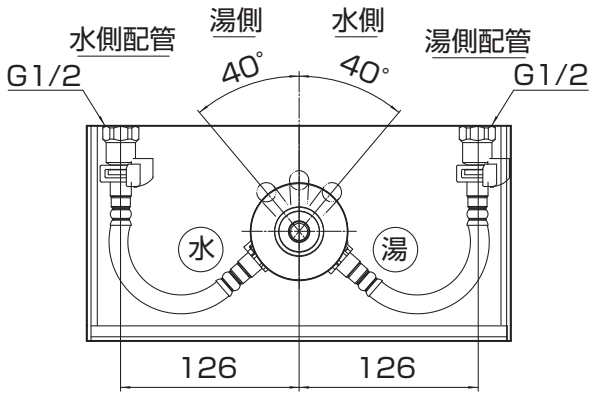
イラストは、
「左側配管」かつ「棚(150mm)設置」の場合です。



※ 本体正面から見て、右側のフレキホースが湯側、左側のフレキホースが水側です。
湯水を逆に配管すると、正常に作動せず、やけどをするおそれがありますので、
配管の際は十分ご注意ください。

※ フレキホースの曲げRはR50以上です。
R50以上で曲がっていたり、無理な負荷が掛かっていると、ホースの折れ・
破損の原因になります。

イラストは、
「本体裏側配管」の場合です。



※ 本体正面から見て、右側のフレキホースが湯側、左側のフレキホースが水側です。
湯水を逆に配管すると、正常に作動せず、やけどをするおそれがありますので、
配管の際は十分ご注意ください。

※ フレキホースの曲げRはR50以上です。
R50以上で曲がっていたり、無理な負荷が掛かっていると、ホースの折れ・
破損の原因になります。

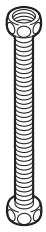
❷ 取付位置の決定

手順 ❶ で決定した配管位置をもとに、下記項目を確認しながら
本体の取付位置を決定してください。

確認すべき項目

■ フレキチューブは必要か

→ 本体横に配管がある場合は必要です。
配管穴までの距離に応じて、適切な長さのフレキチューブをご用意ください。
また、必要に応じて接続アダプターもご用意ください。



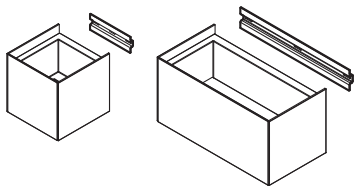
【参考】
SANEI品番：
T15B-13X100-A
(フレキチューブ)
●長さ：100mm
●ねじ：G1/2
●曲げR：R40以上

【参考】
SANEI品番：
T206-13
(接続アダプター)
●ねじ(本体側、壁側)：G1/2
●ナット対辺：21mm

【参考】
SANEI品番：
T20-13
(接続アダプター)
●ねじ(本体側)：G1/2
●ねじ(壁側)：R1/2
●ナット対辺：21mm

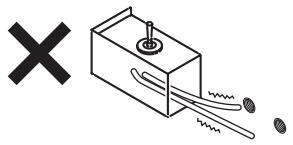
■ 棚・固定プレートはいくつ必要か

→ 本体横に配管がある場合は、棚を取付けることで配管部を隠すことができます。配管位置・用途に応じ、必要な棚をお買い求めください。
棚をお買い求めの際は、棚幅や棚の数・取付位置に応じ、固定プレートも併せてお買い求めください。参照：P28～29



■ フレキホースまでの距離は適切か

→ 距離が遠過ぎたり近過ぎたりすると、フレキホースやフレキチューブの長さが足りなかったり、ホースの折れ・破損の原因になります。

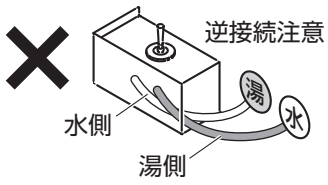


■ フレキホースの曲げRはR50以上になっているか

→ R50以上で曲がっていたり、無理な負荷が掛かっていると、ホースの折れ・破損の原因になります。

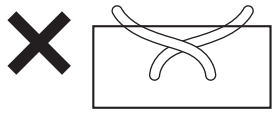
■ 逆配管になっていないか

→ 本体正面から見て、<u>右側のフレキホースが湯側、左側のフレキホースが水側</u>です。湯水を逆に配管すると、正常に作動せず、やけどをするおそれがありますので、配管の際は十分ご注意ください。



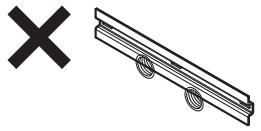
■ フレキホースはクロスしていないか

→ フレキホースがクロスすると、折れ・破損の原因になったり、逆配管の原因になります。



■ 固定プレートや本体・棚のフレームが、配管穴に干渉しないか

→ 固定プレートや本体・棚のフレームが配管穴をふさいでしまうと、その後部品の取付けができなくなります。



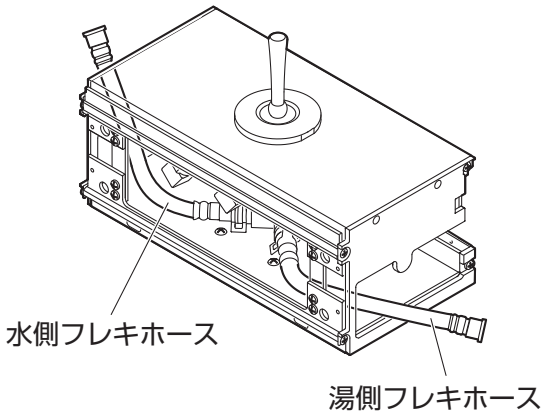
■ 配管部は平らになっているか

→ 配管部に部品が付いていたりすると、施工時に固定プレートや本体に干渉し、取付けできなくなります。

❸ フレキホースの調整

下表を確認し、必要に応じてフレキホースを動かしてください。

フレキホースが折れ曲がらないように注意！

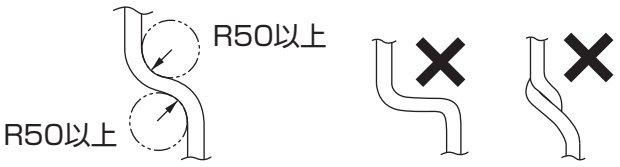


⚠ 注意

ホース施工上の注意点

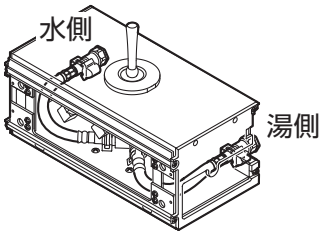
※下記注意事項は必ず守ってください。
ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
ホースが折れた状態でご使用にならないでください。

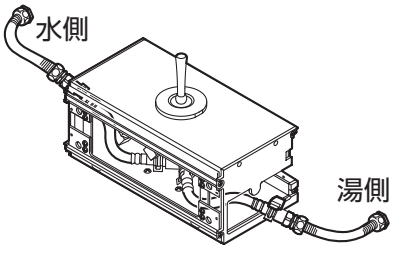
- ホースの最小曲げ半径は50mmです。
ホースを極端に屈曲しないでください。
- ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。
摩耗による外傷でホースの性能劣化の可能性があります。



調整方法

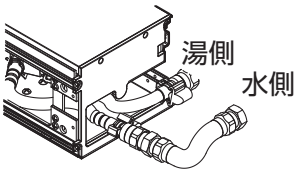
背面配管または左右配管の場合



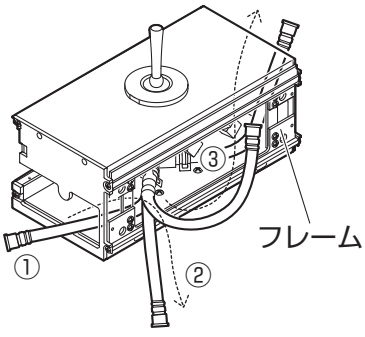


フレキホースを動かす必要はありません。

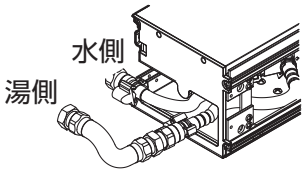
右側配管の場合



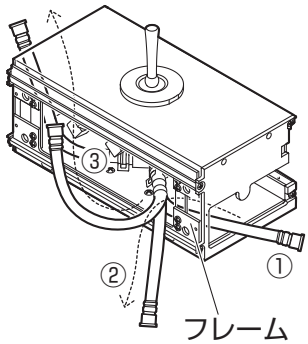
水側のフレキホースを本体のフレームに2回くぐらせ、右側の空間に出してください。



左側配管の場合



湯側のフレキホースを本体のフレームに2回ずつくぐらせ、左側の空間に出してください。

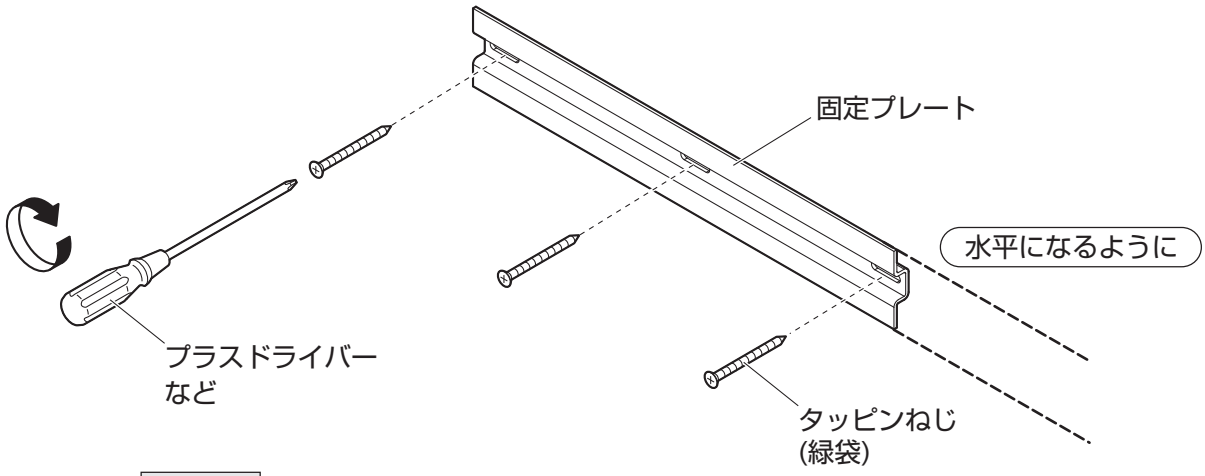


⚠ 注意

ホースの最小曲げ半径は50mmです。

❹ 固定プレートの取付け

（1）手順 ❶ と ❷ で決定した配管位置・取付位置を参考に、プラスドライバーや電動ドリルなどを用いて、固定プレートが水平になるように壁に取付けます。

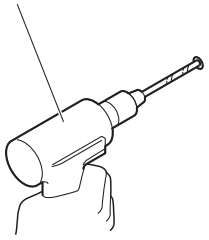


⚠ 注意

●固定プレートは、必ず水平になるように取付けてください。
取付けが不安定になり、落下してケガをするおそれがあります。
●取付ける棚の幅に合った固定プレートを使用してください。
取付けが不安定になり、落下してケガをするおそれがあります。
●水に濡れるおそれがある箇所に施工する場合は、防水加工を行ってください。
水に濡れると、取付部がはずれ、落下・けが・破損の原因になります。
また、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

壁がコンクリートやタイル張りの場合は、壁に穴を空けて市販のアンカープラグを差し込んでください。

電動ドリルなどで下穴を空けてください。
(壁がコンクリートやタイル張りの場合は、超硬ドリルをご使用ください。)



下穴
(呼び径4.5)

※
下穴は、手順 ❶ と ❷ で決定した配管位置・取付位置を参考に、正しい位置に空けてください。

アンカープラグ
(市販)

※
アンカープラグは、当社の止めねじ(4.5×35)に対応するものをご使用ください。

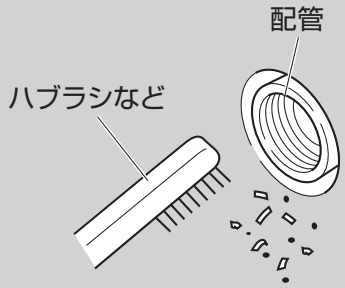
（2）固定プレートが確実に取付けられていることを確認してください。

5 配管内の掃除

注　意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、
必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。
（元栓の開閉は下記を参照してください。）

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、
この場合には有償修理となります。



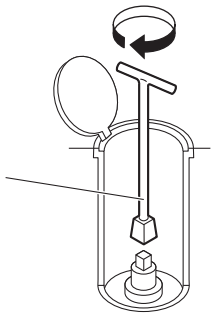
●元栓を閉めて、水を止める方法

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。
※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左回しの場合があります。
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

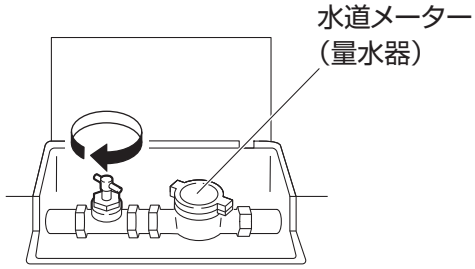
■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式
ボックスがあったりします。

●キー式

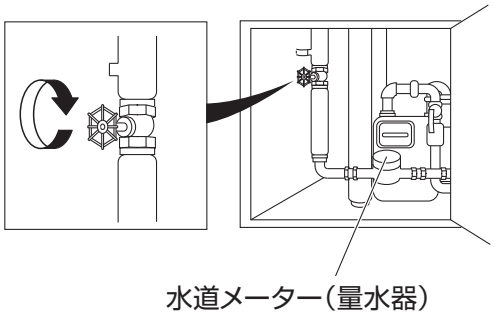


●ハンドル式



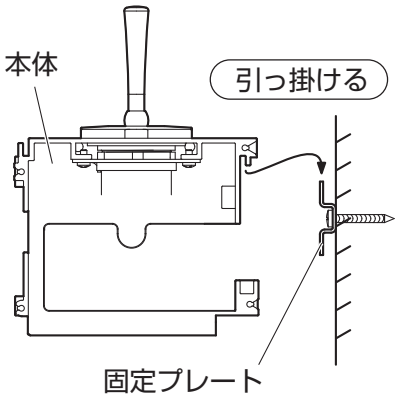
■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、
電気やガスのメーターと共に水道メーターと
元栓があります。
お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわか
らない場合は、水道料金の検針票などでご自分
の水道メーター番号を確認して ください。



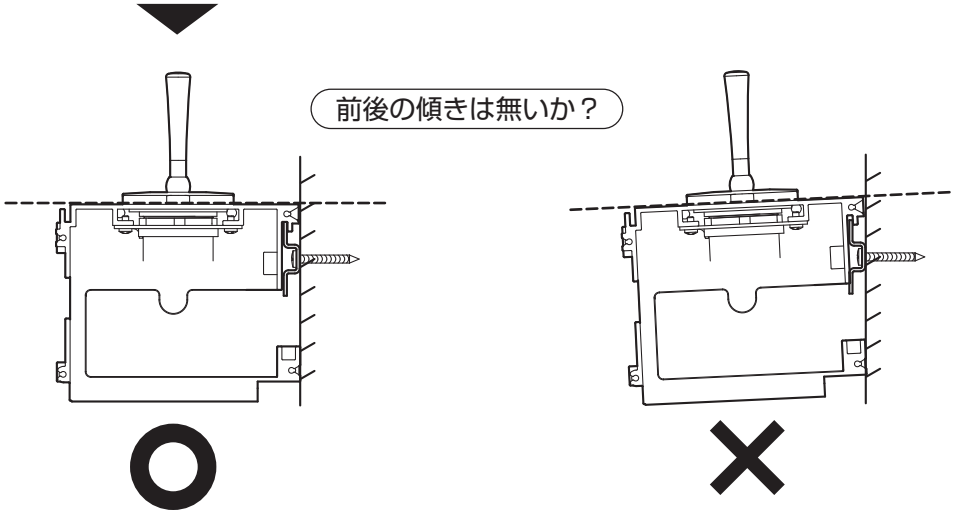
6 本体の傾き調整・固定

(1) 本体を固定プレートに引っ掛け、本体に前後の傾きが無いか確認します。

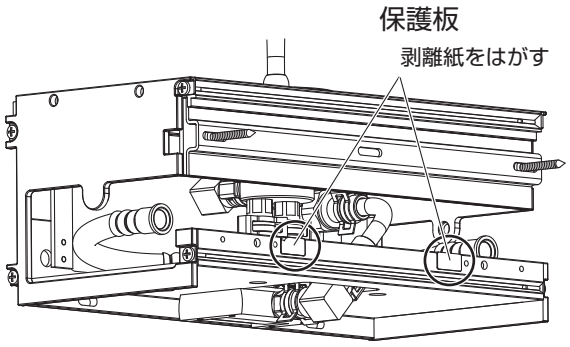


⚠ 注意

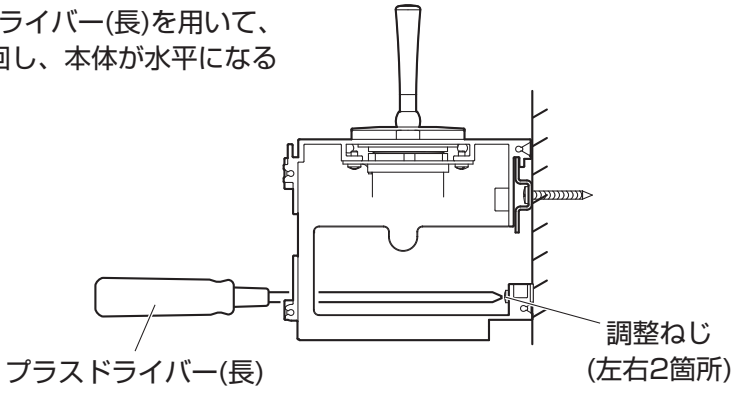
- **本体は重いので落下などに注意して取付けてください。**
- **取付時にレバーなどの可動部を持たないでください。**
- **本体が固定プレートに確実に引っ掛かっている事を確認して下さい。**
  本体が確実に引っ掛かっていないと、落下・けが・破損の原因になります。
- **現段階では本体の固定が十分に行われていません。落下などにご注意ください。**



保護板が本体側に貼りつけてあります。
壁側の両面テープの剥離紙をはがして
本体を取付後、傾き調整してください。



本体に傾きがある場合、プラスドライバー(長)を用いて、
本体奥の調整ねじ(左右2箇所)を回し、本体が水平になる
ように傾きを調節します。

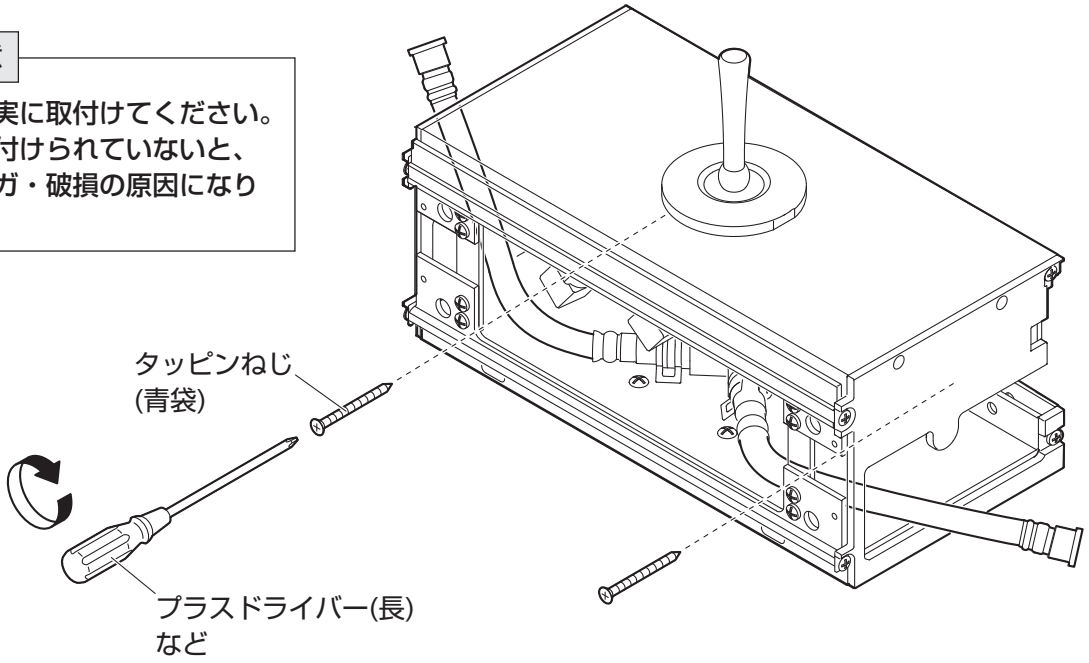


(2) 傾きの調整が完了したら、プラスドライバー(長)を用いて、本体を固定します。

※ 壁がコンクリートやタイル張りの場合は、一旦本体を固定プレートからはずし、
壁に穴を空けて市販のアンカープラグを差し込んでください。 参照：P10

⚠ 注意

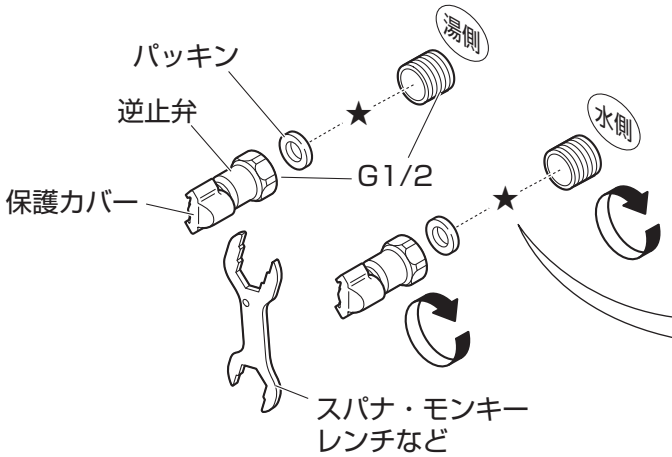
本体は確実に取付けてください。確実に取付けられていないと、落下・ケガ・破損の原因になります。



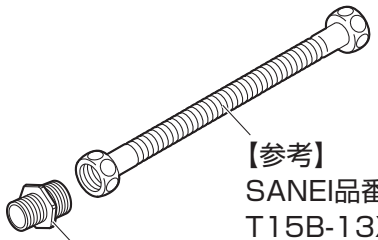
(3) 本体が確実に取付けられていることを確認してください。

7 逆止弁の取付け

（1）逆止弁をスパナやモンキーレンチなどの工具を用いて、壁の湯側・水側配管に取付けます。



フレキチューブ(別売)を取付ける場合は、「★」の位置に下記の順で取付けます。

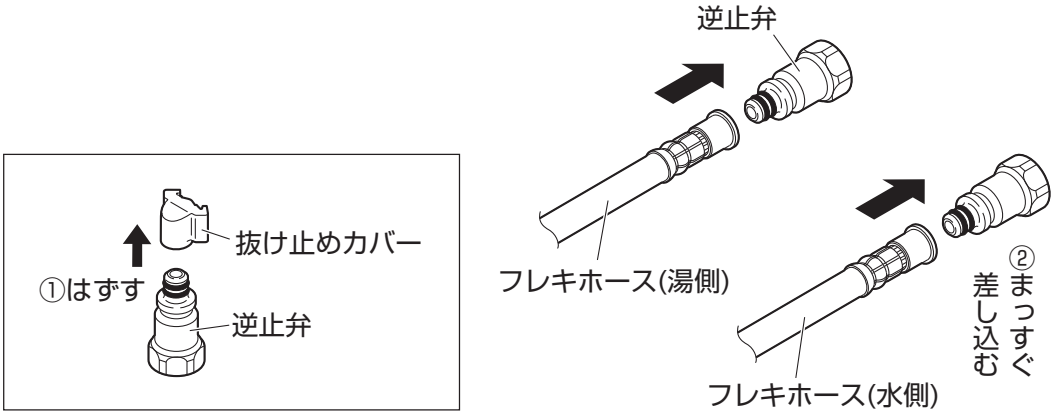


【参考】
SANEI品番：
T15B-13X100-A
(フレキチューブ)
●長さ：100mm
●ねじ：G1/2
●曲げR：R40以上

⚠ 注意

●漏水の原因になります。接続アダプターや逆止弁は絶対に逆方向へゆるめないでください。
もしもゆるめてしまった場合は、手順（1）をもう一度はじめから行ってください。
●接続アダプターや逆止弁は、ゆるみがないように確実に締めてください。
接続アダプターや逆止弁が確実に締付けられていないと、水が漏れることがあります。
●パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

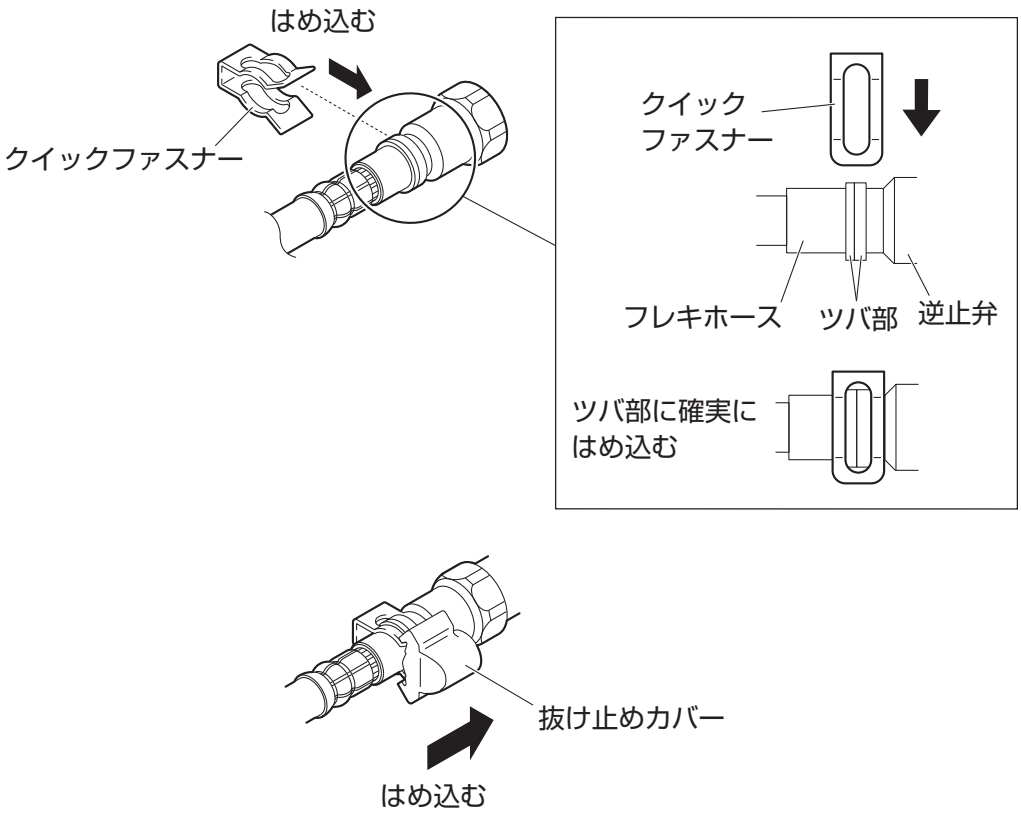
(2) 逆止弁の抜け止めカバーをはずし、フレキホースと逆止弁のツバ部が
すき間なく合うまで差し込んでください。



⚠ 注意

●逆止弁のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
●抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

(3) クイックファスナーをフレキホースと逆止弁のツバ部に確実にはめ込んでください。
次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実にはめ込んでください。



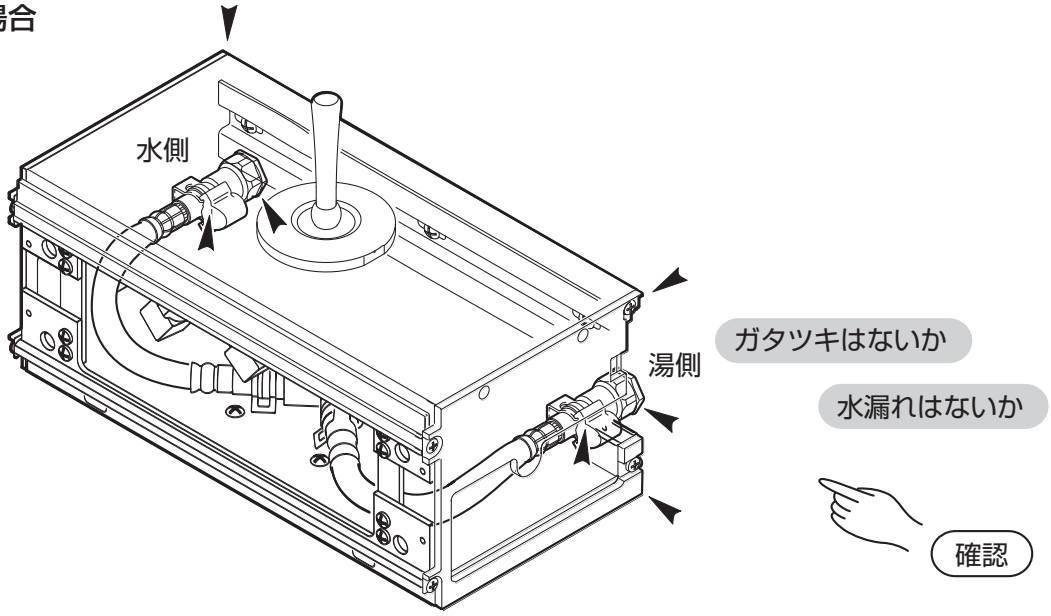
⚠ 注意

●クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
●クイックファスナーは、広げないでください。
●フレキホースを引っ張って抜けないことを確認してください。

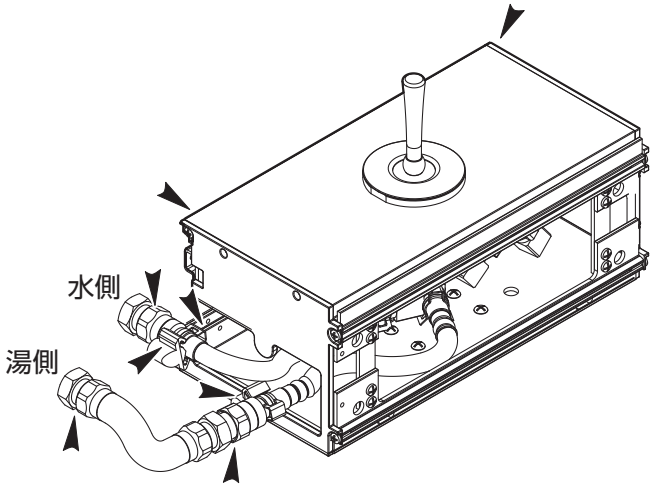
8 水漏れ・ガタツキチェック

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。
ガタツキの確認後、止水栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。

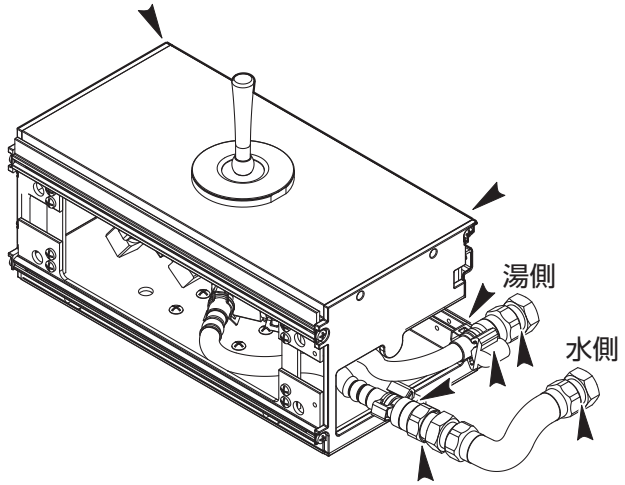
■ 背面配管の場合



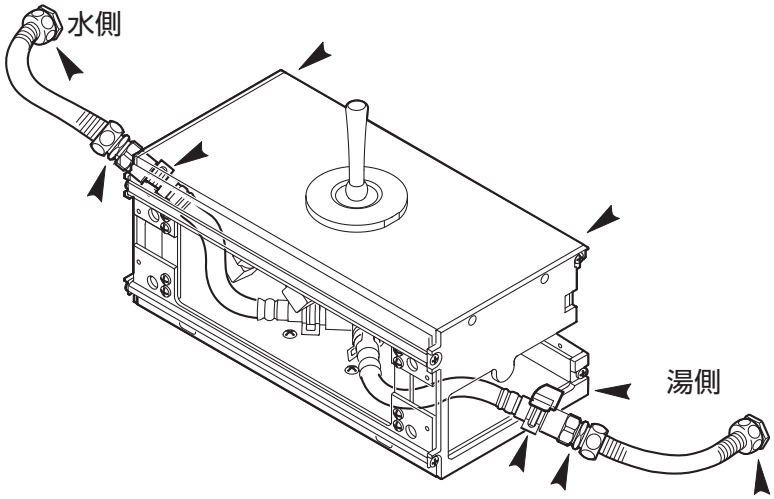
■ 左側配管の場合



■ 右側配管の場合

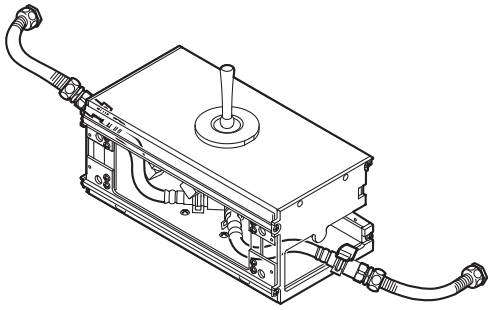


■ 左右配管の場合



9 側面パネルの取付け

■ 左右配管の場合



→ 側面パネルの取付けは必要ありません。

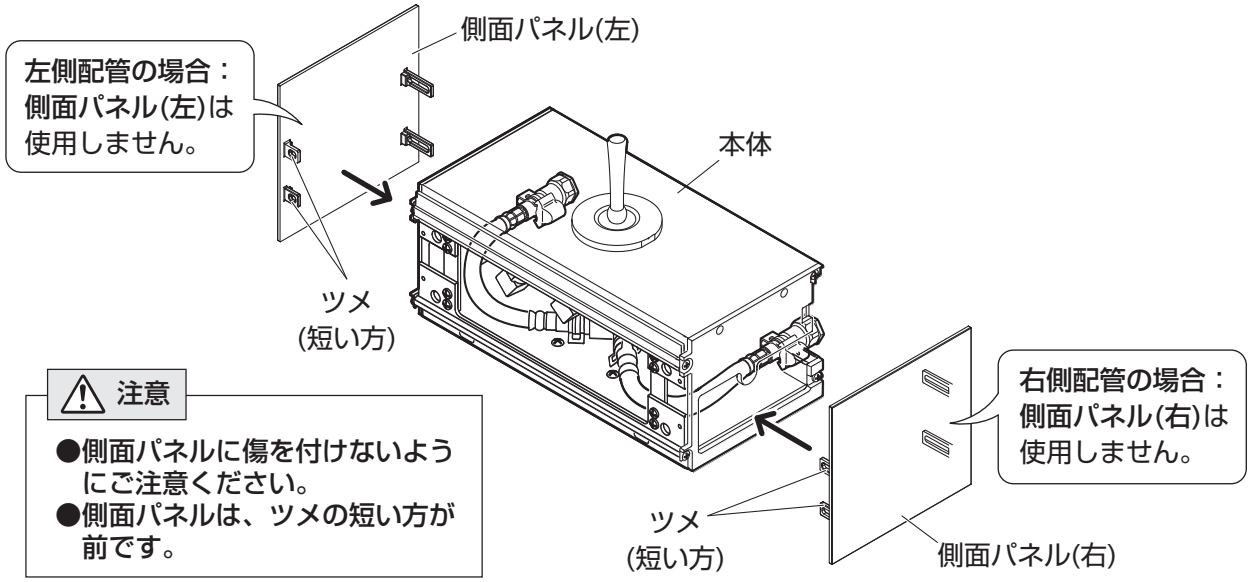
手順 10 に進んでください。

※ 本体横に別売の固定プレートと棚を取付けることで、配管を隠すことができます。
参照：P28～29

※ 側面パネル(左右)と止めねじ(8本)は使用しません。

(1) 側面パネルを本体にはめ込みます。

※ イラストは、背面配管の場合です。

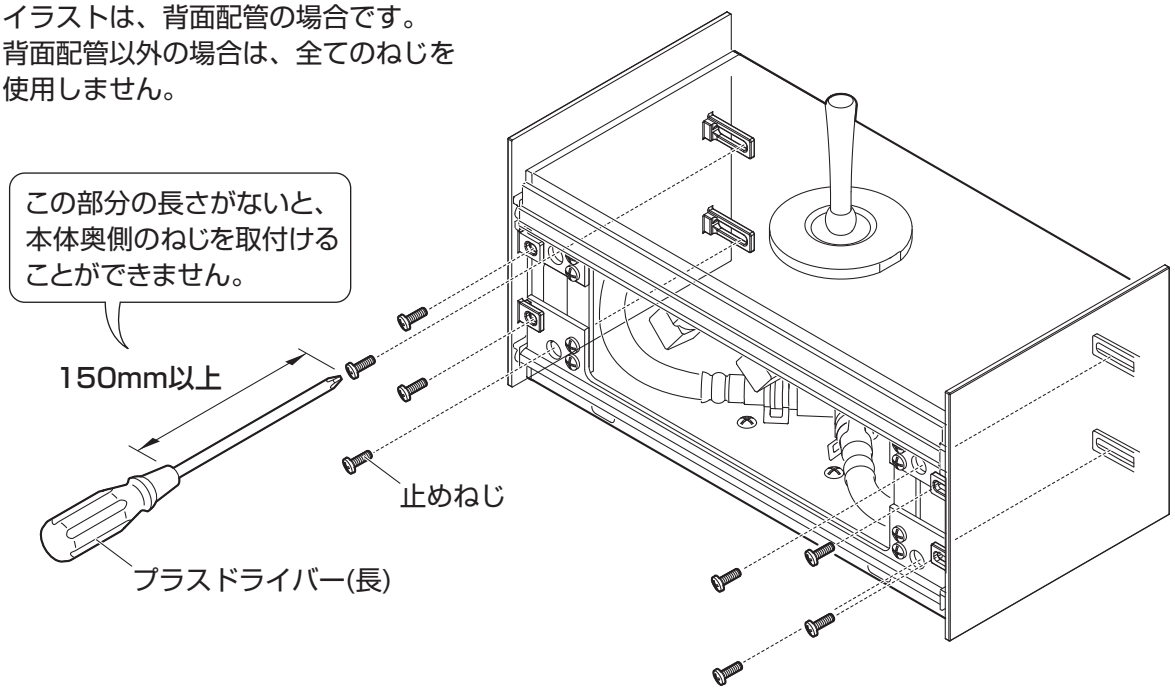


⚠ 注意

- 側面パネルに傷を付けないようにご注意ください。
- 側面パネルは、ツメの短い方が前です。

(2) プラスドライバー(長)を用いて止めねじ(透明袋 2本入り)を締付け、固定します。

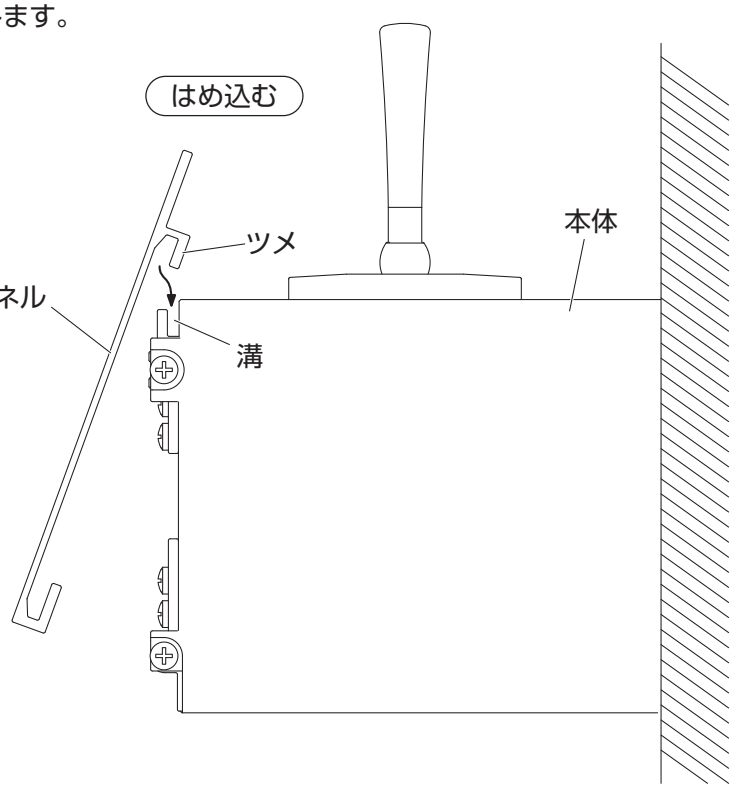
※ イラストは、背面配管の場合です。
※ 背面配管以外の場合は、全てのねじを使用しません。



(3) 側面パネルが確実に取付けられていることを確認してください。

⑩ 前面パネルの取付け

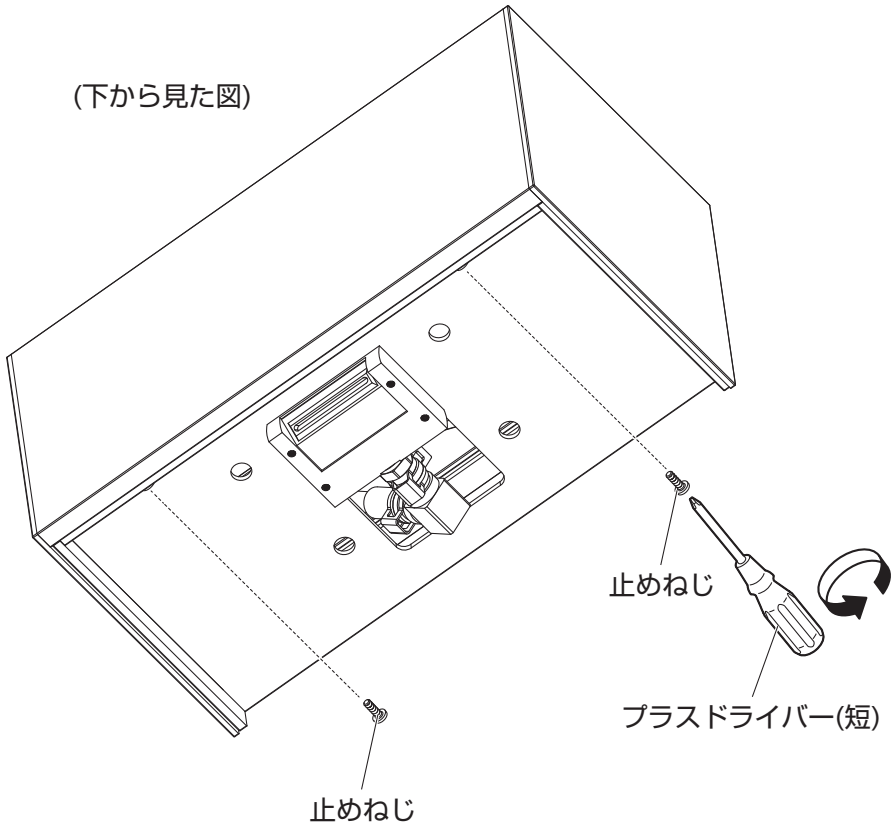
(1) 本体の溝に前面パネルのツメをはめ込みます。



⚠ 注意

- 前面パネルをはめ込む際、側面パネルに干渉する場合がありますが不具合ではございません。パネル同士にすき間を作らない設計となっております。この場合、側面パネルを軽く広げながらはめ込むか、⑨(2)に戻って側面パネルの位置を調整して下さい。
- 前面パネルに傷を付けないようにご注意ください。

(2) プラスドライバー(短)を用いて、本体下側から止めねじ(透明袋 2本入)を締付け、固定します。



(3) 前面パネルが確実に取付けられていることを確認してください。

ご使用について　ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

…… 「注意しなさい！」（上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

…… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

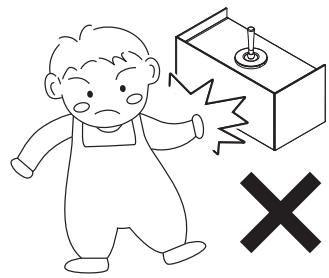
…… 「分解してはいけません!」

…… 「指示した場所に触れてはいけません!」

…… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。



⚠注意

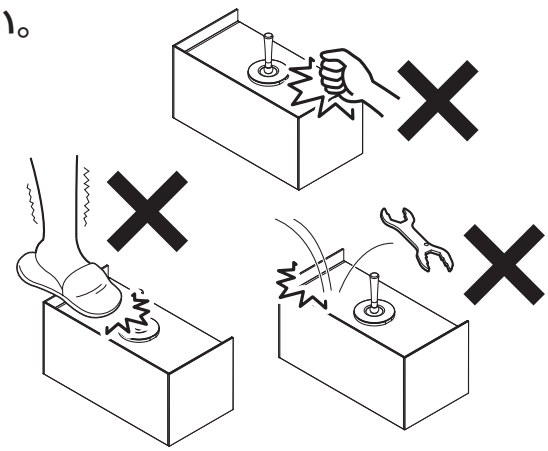
使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、においことがあります。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。

【してはいけない例】

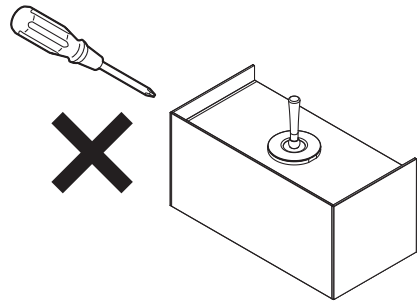
- **固いものをぶつける**
- **重いものを載せる　耐荷重：30Kg**
  ※瞬間的な耐荷重です。継続的な荷重の負荷はガタツキや破損の原因となるため行わないでください。
- **過度な体重をかける・もたれる**

故障や漏水の原因になります。

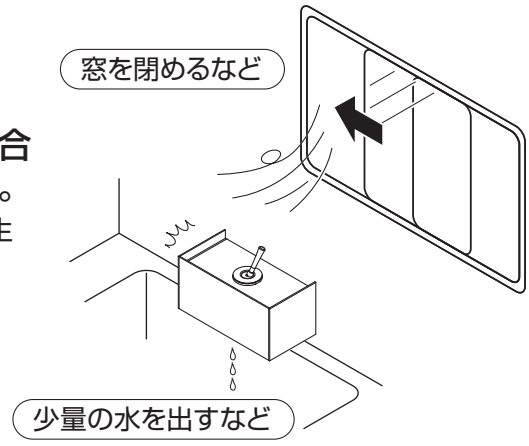


⚠注意

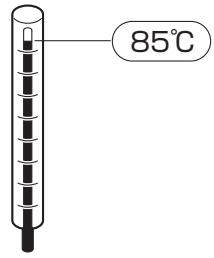
分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



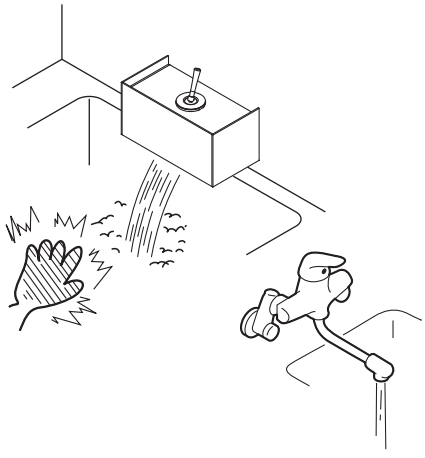
凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P23



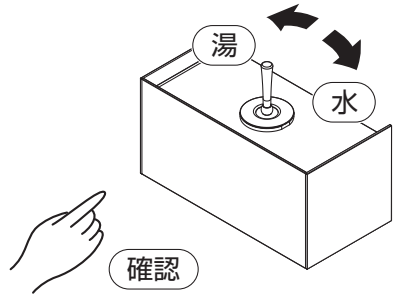
(給湯器の設定温度について)
給湯温度は最高85℃までお使いください。
85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。
なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。



他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。

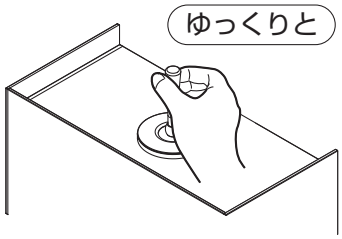


レバーの温度位置を確かめて吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

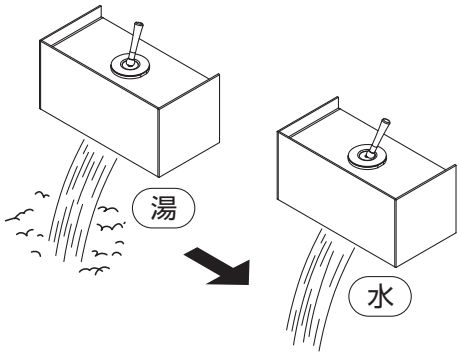


⚠注意

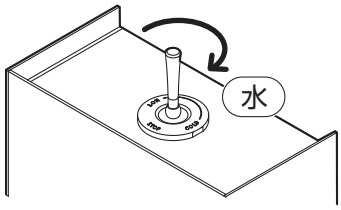
レバーは、ゆっくり動かしてください。
レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



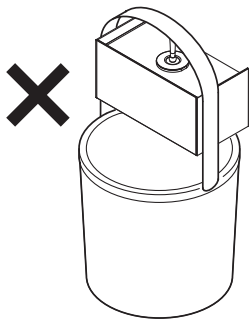
湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



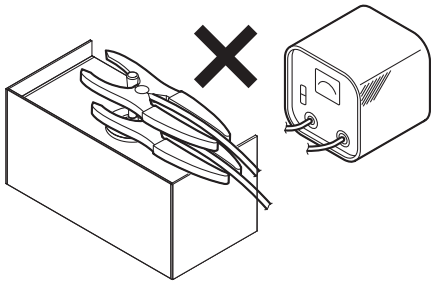
高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してから止水してください。
次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



本体に重いものを下げたり、力をかけて押したりしないでください。
変形、破損および本体の固定がゆるむおそれがあります。



解氷機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

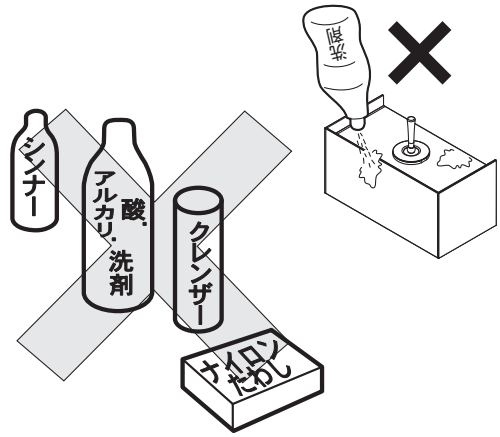


⚠注意

本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

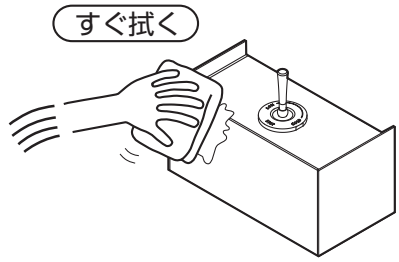
使用してはいけないもの
- ●酸性 ・ アルカリ性および塩素系の洗剤類
  ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ●ベンジン ・ シンナー ・ ラッカー ・ アルコールなどの溶剤や油類
- ●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ●ナイロンたわし・メラミンフォームなど

本体の割れや変色変質の原因となります。



洗剤 ・ 薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。

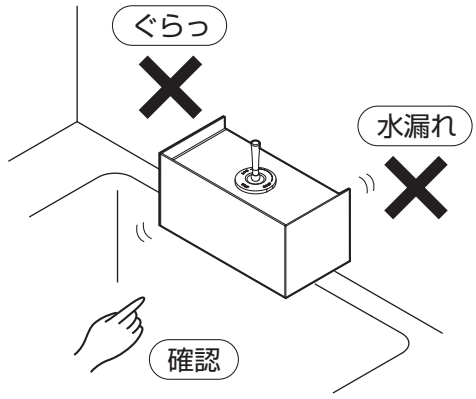
本体の割れや変色変質の原因となります。



本製品は、強くこすると、色落ちしたり、表面素材が剥がれるおそれがあります。

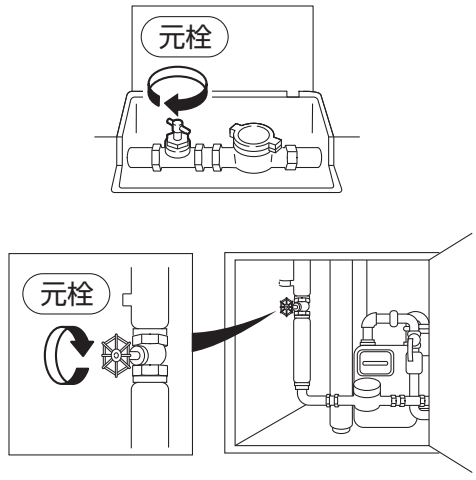
定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



長期間使用しない時は、配管中の元栓を閉めてください。

水漏れなどの事故の原因になります。



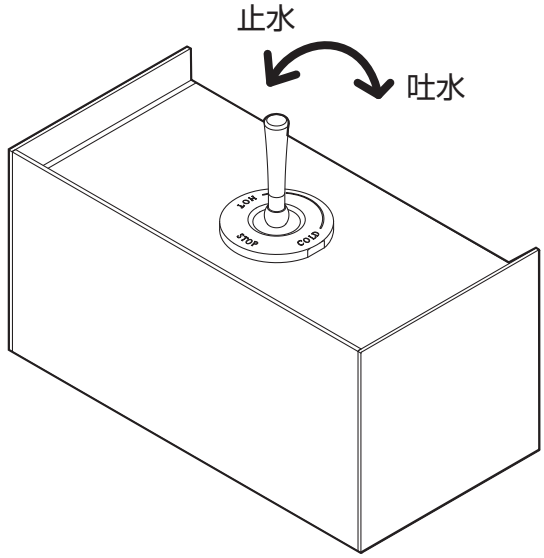
ご使用について　吐水・止水・温度調節

レバーで吐水・止水・温度調節ができます。

吐水・止水

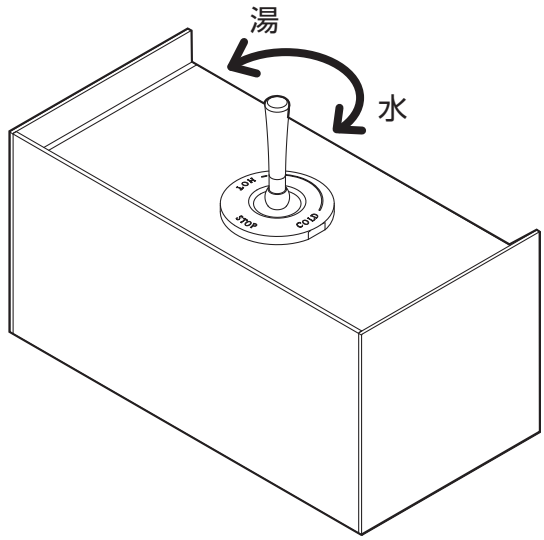
レバーを後ろへたおす ➡ 吐水
レバーを手前におこす ➡ 止水

レバーをたおすほど水量が多くなります。



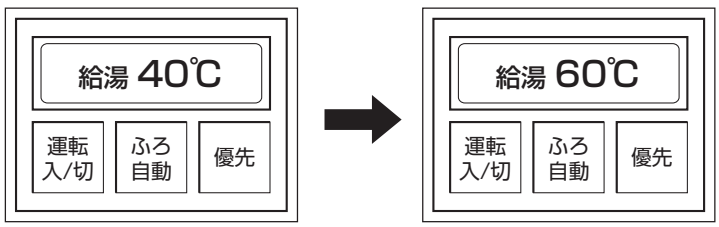
温度調節

レバーを右にたおす ➡ 水
レバーを左にたおす ➡ 温度が上がる



高温の湯が出ないときは？

レバーを湯側にまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を42～60℃に設定した後、水栓側のレバーを湯側にまわしてください。



⚠ 注意

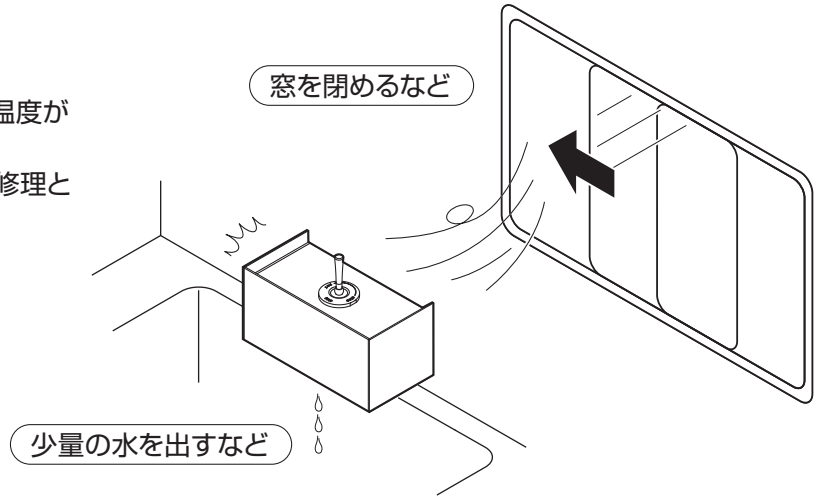
高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとレバーで適温に戻してしばらく水を流してください。

（注） 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。
この場合には、水栓側のレバーを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。

ご使用について　凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

●水栓より少量の水を出してください。
(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
●配管部などに保温材を巻いてください。
●屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



日頃のお手入れ　汚れの拭き取り

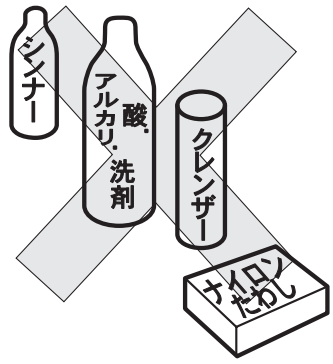
製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

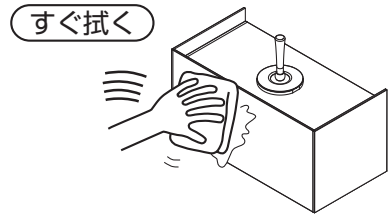
⚠注意

本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

使用してはいけないもの
●酸性 ・ アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
●ナイロンたわし・メラミンフォームなど



洗剤 ・ 薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。

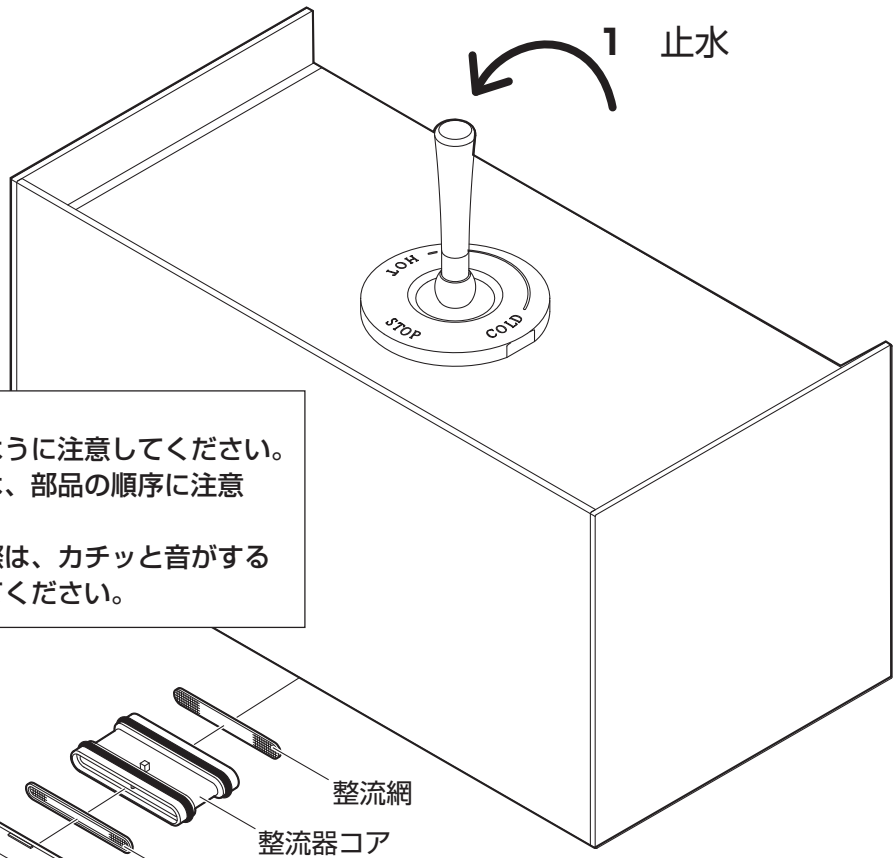


本製品は、強くこすると、色落ちしたり、表面素材が剥がれるおそれがあります。

日頃のお手入れ　吐水口の掃除

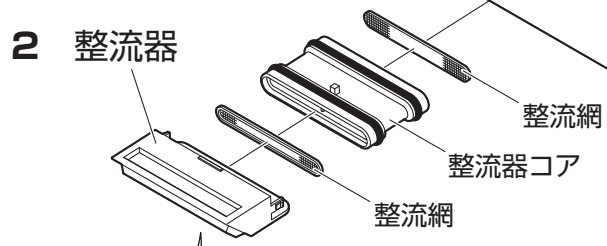
吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。
快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。
(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れを
おすすめします。)

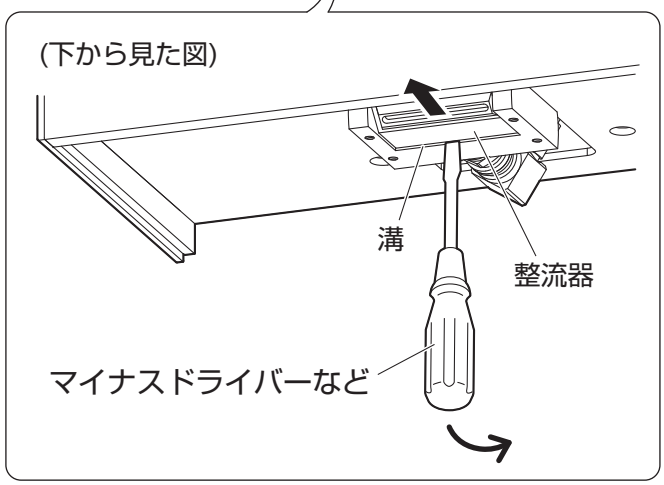
1　レバーを手前におこし、止水します。
2　マイナスドライバーを用いて、整流器をはずします。
3　ハブラシなどで網部分を掃除します。



⚠ 注意

- ●部品を無くさないように注意してください。
- ●部品を取付ける際は、部品の順序に注意してください。
- ●整流器を取付ける際は、カチッと音がするまで確実に取付けてください。





再使用時

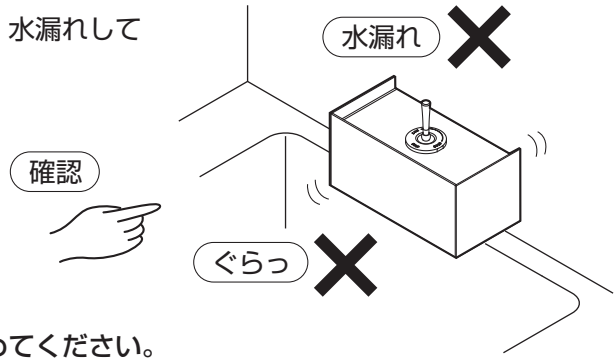
整流器が確実に取付けられているか確認してください。

定期的な点検　可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。
放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」（P30）を参照し、修理をご依頼ください。

定期的な点検　配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

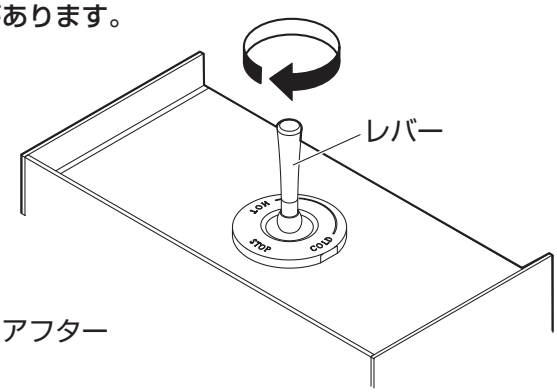


漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。
修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」（P30）を参照してください。

定期的な点検　レバーのガタツキ

レバーががたつく場合、レバーのねじがゆるんでいる可能性があります。

レバーのねじを増し締めします。

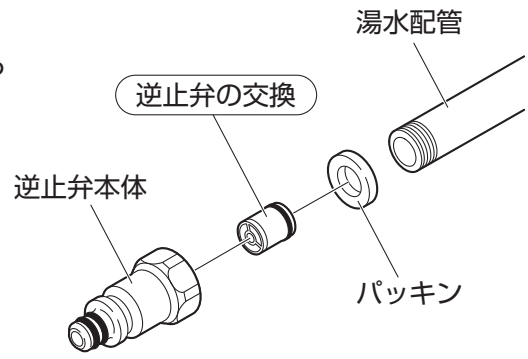


以上の処置をされても不具合がなくならない場合は、「保証とアフターサービス」（P30）を参照し、修理をご依頼ください。

定期的な部品交換　逆止弁の交換時期

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。



※ 交換時期は、使用環境などにより異なります。
※ 逆止弁の交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」（P30）を参照してください。

こんなときは　故障？　その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	ゴミづまりはありませんか。	吐水口の掃除をする。　参照：P24
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。　参照：P22
温度調節がうまくできない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。　参照：P22
	ゴミづまりはありませんか。	吐水口の掃除をする。　参照：P24
水はねが気になる	――――――――	レバーで水量を調節する。　参照：P22

以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びレバー上部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。 各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。 レバー上部からの水漏れの場合は、カートリッジを交換してください。 参照：P27
止水しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。 カートリッジを交換してください。　参照：P27

漏水した場合の処置

漏水した場合は、配管中の元栓を閉めてください。

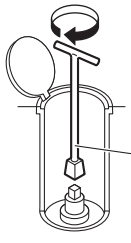
元栓の閉め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。

※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左まわしの場合があります。
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

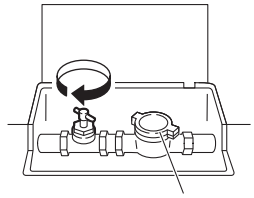
■ **戸建て住宅などの元栓ボックス：**
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式



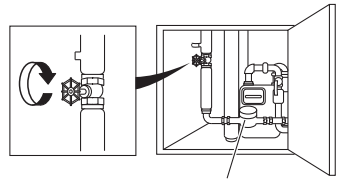
止水栓キー
SANEI品番：
PR30A
(止水栓キー)

●ハンドル式



水道メーター
(量水器)

■ **マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：**
主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。
お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



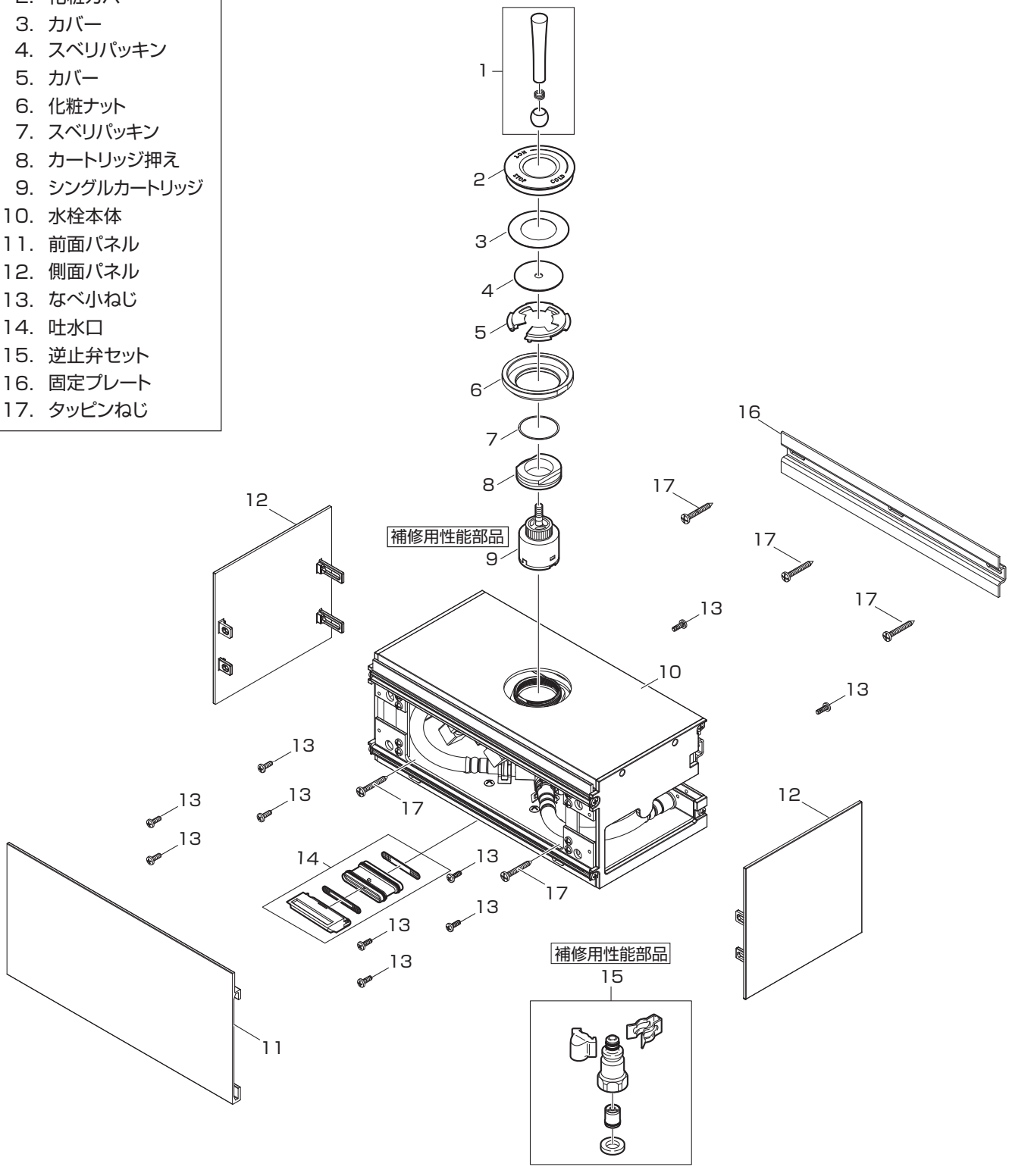
水道メーター（量水器）

こんなときは　本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。
構造をご理解いただくのにご使用ください。

K4795V-13

1. レバー
2. 化粧カバー
3. カバー
4. スベリパッキン
5. カバー
6. 化粧ナット
7. スベリパッキン
8. カートリッジ押え
9. シングルカートリッジ
10. 水栓本体
11. 前面パネル
12. 側面パネル
13. なべ小ねじ
14. 吐水口
15. 逆止弁セット
16. 固定プレート
17. タッピンねじ



こんなときは　オプション品について

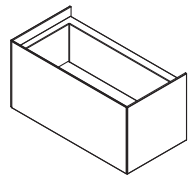
当社では、水まわりを快適にサポートできるようにオプション品や補修パーツをホームセンターなどでとりそろえております。
(品質改良、原材料事情などにより、品番、仕様などの変更、および製造中止を予告なくさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。)

棚を付けたい。

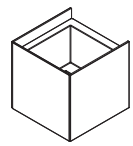
品名	SANEI品番
棚(配管スペース付) 300mm	W239-1T-300
棚(配管スペース付) 150mm	W239-1T-150
棚 300mm	W239-1-300
棚 150mm	W239-1-150
ティッシュボックス棚	W239-2

「配管スペース付」のものは、下に配管を通す空間があり、配管を隠すことができます。

棚
300mm



棚
150mm



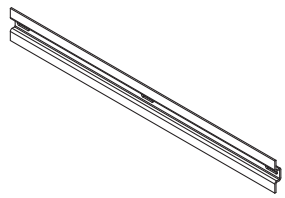
ティッシュボックス棚
300mm

■ 棚と併せて、下記部品もお買い求めください。

品名	SANEI品番
固定プレートセット 150mm	R64-89S-150
固定プレートセット 300mm	R64-89S-300
固定プレートセット 450mm	R64-89S-450
固定プレートセット 600mm	R64-89S-600

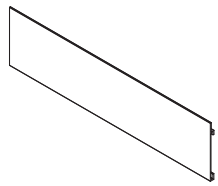
固定プレートは、棚を壁面に取り付ける際に必要ですので、必ずお買い求めください。

固定プレートセット

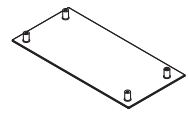


品名	SANEI品番
前面パネルセット 450mm	R57-16S-450
前面パネルセット 600mm	R57-16S-600
底面パネルセット 150mm	R88-735S-150
底面パネルセット 300mm	R88-735S-300

前面パネルセット

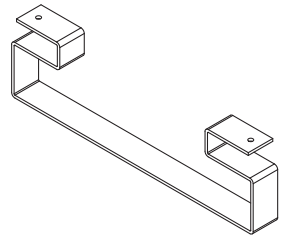


底面パネルセット



タオル掛を付けたい。

品名	SANEI品番
タオル掛セット 300mm	W57-92S-300
タオル掛セット 450mm	W57-92S-450

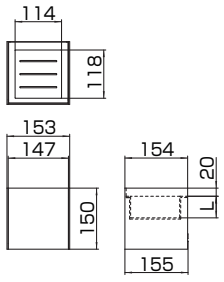


棚・タオル掛　寸法図

●棚（配管スペース付）・棚・ティッシュボックス棚

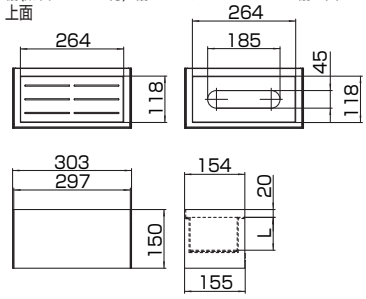
耐荷重値	30kgf

棚(配管スペース付)･棚 (150mm)



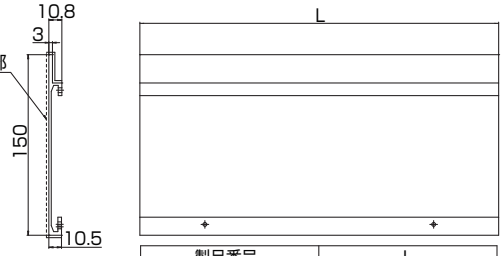
製品番号	L
W239-1T-150	53
W239-1-150	84

棚(配管スペース付)･棚･ティッシュボックス棚 (300mm)



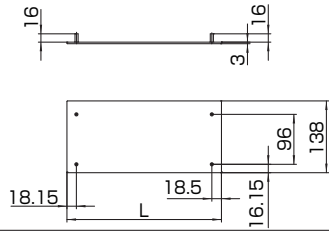
製品番号	L
W239-1T-300	53
W239-1-300	84
W239-2	84

●前面パネルセット



製品番号	L
R57-16S-450	448
R57-16S-600	598

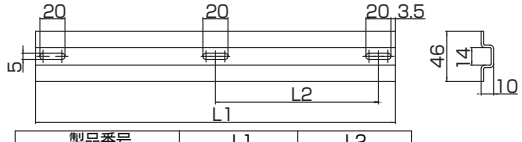
●底面パネルセット



製品番号	L
R88-735S-150	147
R88-735S-300	297

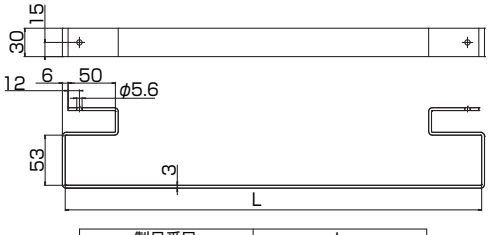
●固定プレートセット

耐荷重値	30kgf



製品番号	L1	L2
R64-89S-150	137	55
R64-89S-300	287	130
R64-89S-450	437	205
R64-89S-600	587	280

●タオル掛セット



製品番号	L
W57-92S-300	290
W57-92S-450	440

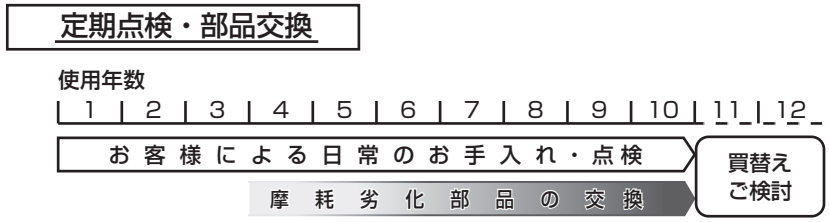
保証とアフターサービス

〔保証について〕

●この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
●保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
●保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3～5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)



日頃のお手入れについてはP23～24、定期的な点検についてはP25をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。
摩耗劣化部品の例
シングルカートリッジ（バルブ開閉ユニット）・逆止弁（逆流防止弁）・レバー（ハンドル）・ストレーナ・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP27を参照してください。

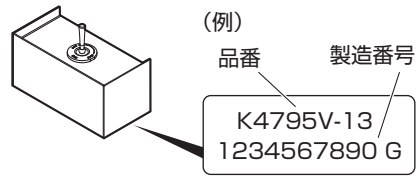
〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

●修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
●連絡していただきたい内容：■住所、氏名、電話番号
■品番、品名
■お買上げ(お取付け)年月日
■故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
■訪問希望日

品番を確認するには水栓の底面(右下)に貼付のシールをご確認ください。



●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。
「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

●まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

SANEI 株式会社
〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎0120-06-9721
受付時間 9：00～17：30(土日祝除く)
ホームページ http://www.san-ei-web.co.jp

SANEI

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店（工事店）にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。
お買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名など記入もれがありますと無効となります。
必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品　番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		
保証期間	対象部品	期間（お買上げ日/お取付け日から）	
	本　体		
お買上げ日（お取付け日）			
お客様	お名前 ご住所 電話　（　　）		店名　住所 電話　（　　）

見　本

＜無料修理規定＞　ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店（工事店）に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （１）使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
   （２）温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
   （３）お買上げ（お取付け）後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
   （４）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
   （５）電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）及び外部ノイズなどに起因する不具合
   （６）消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
   （７）施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
   （８）建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
   （９）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
   （10）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
   （11）砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
   （12）寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
   （13）本書の提示がない場合
   （14）本書にお買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店（工事店）、または当社にお問合せください。

★ 補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

SANEI 株式会社

〒537-0023　大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎0120-06-9721
受付時間 9：00～17：30(土日祝除く)
ホームページ http://www.san-ei-web.co.jp